

10月2日～3日の大学祭で建築・都市システム学系の学生らが竹のパビリオン「BAMBOO WALL／光の井戸」を制作しました。

---

10月2日～3日の本学大学祭に併せて、建築・都市システム学系の学生らで組織する建築サークルのメンバーが竹のパビリオン「BAMBOO WALL／光の井戸」を厚生棟前に制作しました。

このパビリオンは、建築・都市システム学系の学生らが大学祭の休憩施設として計画し、材料の竹の調達から、設計、そして施工まで一貫して取組んだセルフビルド建築です。

枯損木として伐採されたケヤキの切株の上にパビリオンを設置することで、そこに休憩施設という新しい機能を付加すると共に、光の演出によって、そこに樹木があったという記憶の顕在化を目的としています。



パビリオン内部の「光の井戸」の様子



広場の既存樹木と連続するパビリオン夜景